白山高と市工高、いよいよ閉校

数々の思い出を残し

高志高校合に統

市立白山高校と同工業高校がこの三月でいよいよ閉校となります。両校は、校地が狭く、グラウンドもないことから、昭和五十五年四月、市立高志高校（姥ケ山二二四〇）として統合移転されました。このため、五十五年度から生徒募集を停止、現三年生が最後の卒業生になりました。

白山高校は、昭和二十三年六月、定時制独立校として設立され、三十八年全日制課程を開設、四十五年体育科も設置されました。その間、新潟地震で校舎が大きな被害を受けるなどの困難もありましたが、約六千人の卒業生が巣立ちました（定時制も含む）。

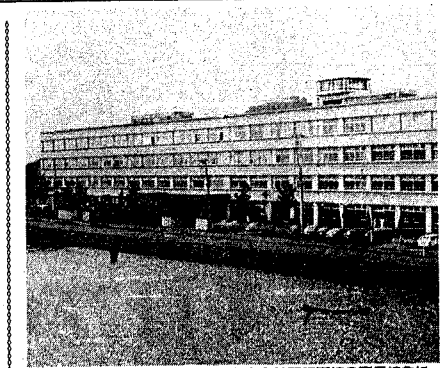
同校のスポーツ活動は盛んで、陸上、体操、バスケット水泳部などの活躍はめざましいものでした。また、今年は閉校ということで、在校生たちが多彩な行事を企画しました。最後の卒業生となった**井上勝博**さんは、「最後だから何かしたいという気持ちがすごく強かった。体育祭や文化祭などおもしろかったです」。また、**小林早苗**さんは、「これからは、校舎は残っていても、白山の名前がなくなるでしょう。やっぱり寂しいです。今年一年は、先輩たちが残してくれたものを、きちんと締めくくりたいと思って、がんばりました。燃えた！という感じで、満足して卒業できます」と語ってくれました。

一方、市立工業高校は、昭和二十年三月に機械科が設立され誕生しました。二十三年定時制過程を併設、二十五年道船科（四十一年廃止）、三十四年電気科が設置され、約七千人の生徒を送り出してきました（定時制も含む）。

工業技術の習得を目的にした同校は、実技関係に優れ、製図・機械・計算尺などのコンクールで優秀な成績を修めてきました。クラブ活動も盛んで、バドミントン、野球、レスリング、柔道、ヨットなどで、「市工（イチコウ）」の名をとどろかせました。プロ野球の三輪投手（現広島）は同校野球部のOBとして有名です。

第一回の卒業生であり、同窓会長でもある**関瀬浩二**さんは、「私ら、第一生でしょう。運動場がなかったから、自分たちで造ったりしてね。学校はなくなってしまうけど、三十七年間の伝統は守っていきたいですね」と語ってくれました。

なお、両校の校舎は、白山高校は、定時制の明鏡高校の専用校舎として、市立工業高校は、地域のコミュニティセンターとして利用されます。



3月で閉校となる白山高校。4月からは明鏡高校の専用校舎に

両校で閉校式典を開催

両校では閉校にあたり、それぞれ卒業式終了後閉校式典が行われます。

高志高校

◉**閉校式典**
日時　三月二日午前十一時～
会場　白山高校体育館
◉**別れの宴**
日時　三月二日午後一時～
会場　新潟郵便貯金会館

白山高校

◉**閉校式典**
日時　三月七日午後二時～
会場　市立工業高校
◉**特別の宴**
日時　三月七日午後四時～
会場　新潟グランドホテル
会費　五千円
申し込み　二月十八日までに市立工業高校（附船町一、☎28―五五六六）へ

問い合わせ　白山高校（一番堀通三の一、☎28―六〇六二）へ

昭和57年度「くらしのレポーター」募集中

市では、消費生活に関する意見、要望を聞いたり、情報を提供して頂く昭和五十七年度の「くらしのレポーター」を次の要領で募集します。

応募資格　市内に居住する十八歳以上の婦人で消費生活の改善向上に熱意をもつ方
募集人員　五十人
主な仕事　①不当商行為等に対する情報連絡②生活関連物資等の価格調査③商品の試買調査、比較テスト④懇談会、研修会等への出席⑤その他市が開催する会議、調査に協力
任期　昭和五十七年四月一日から五十八年三月三十一日
報酬　年額一万五千六百円（予定）
応募方法　二月二十七日までに、はがきに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、新潟市消費生活センター（〒951、西堀通六―八七三、中央公民館内）へ
問い合わせ　消費者生活センター（☎28―一〇〇〇、内線五三一）へ

公聴会

～北陸瓦斯の料金値上げ～

日時　三月五日午前十時～
会場　だいし海上ビル（東大通）
閲覧場所　北陸瓦斯株式会社本社（東大通一―二―二三）と同新潟営業所（附船町一―四〇四一）
事案の要旨　現行ガス料金の平均二・六七％の引き上げ
申し込み
〈意見を述べようとする人〉は二月二十二日（必着）までに、住所（郵便番号、電話番号を記入）、氏名（ふりがなを付す）、職業（団体または企業では、その名称、所在地および代表者の氏名ならびにその団体または企業を代表して意見を陳述する者の氏名、職名）および意見の概要を記載し、封筒の表に「北陸瓦斯関係公聴会陳述希望」の旨を記入して、東京通商産業局公益事業部公益事業課（〒100、東京都千代田区大手町一―三―三、大手町合同庁舎第三号館）へ
〈傍聴を希望する人〉は、二月二十二日（必着）までに往復はがきで、住信用には住所、氏名、および「北陸瓦斯㈱関係公聴会傍聴希望」の旨を、返信用にはあて先を明記し、東京通商産業局へ

ガス料金改定で懇談会

―北陸ガスと消費者団体―

三日、「ガス料金改定に係る説明懇談会」が北陸瓦斯㈱と消費者団体との間で開かれ、ガス料金改定の内容や理由について、両者間で活発な話し合いが行われました。

これは、北陸瓦斯㈱が先月八日、東京通商産業局に対し、この四月一日を実施とする平均二・六七％のガス料金値上げの認可申請書を提出したことから、市が懇談会という形でセットしたもの。

この日、北陸瓦斯側から八人、消費者団体側から十六団体二十七人が出席しました。

「平均二・六七％の値上げを」

懇談会はまず北陸瓦斯側が申請内容と改定理由を説明。「平均単価一立方㍍当たり現行九八円七七銭を二一円四〇銭値上げし一二〇円一七銭とする（平均二・六七％の改定率）、またこれと合わせて本支管工事費の当社負担額を改定するもの」と述べました。

さらに改定理由について「天然ガス卸料金の大幅値上げ、保安強化関連費の増加、ガス源の長期安定対策の一環としての大型設備投資に伴う資本費の増大――などが上げられます。特に外的要因としての原料費の高騰は企業努力で吸収することは困難」と述べ、最少限の値上げを強調しました。

これを受けて消費者団体側から「申請内容は、家庭の一般的消費量である六―二五〇立方㍍の範囲の改定率が高い。一般家庭へのシワ寄せでは…」「ガス供給にはあまり不安を感じない。しかし、設備投資が行われ、それが価格にある程度はね返っている。設備投資は本当に必要なのか」などの質問が出されました。

北陸瓦斯側は「前回の値上げでは家庭へのシワ寄せを極力排除したが、その結果、料金体系が乱れてきている」、「年間需給量はバランスがとれているが、消費量最盛期（十一―三月）はどうしても供給不足になる。安定供給を第一の使命と考えると、最盛期に合わせて設備投資をしなければならない」とその必要性を説明しました。

なお、この料金改定申請については、ガス事業法に基づく公聴会が下記のとおり開かれます。

特定地域の縦覧はその地域の連絡所で

風間六郎（米山四）

問　一月三十日付「市報にいがた」に、姥ケ山地区公共下水道計画に伴う都市計画変更案の縦覧公告がでていたが、このような特定地域に関する場合の縦覧は、その地域の連絡所等で、できるよう地域住民の便宜を図って頂きたい。

なにも遠くて交通渋滞する中心部の、しかも手狭な本庁舎でなくとも近くに有効な連絡所や公民館があります。これらの施設を利用できないものでしょうか。

答　いつも下水道事業にご協力頂き、ありがとうございます。

ご指摘の、特定地域の縦覧といった見方からすれば、風間さんのご意見も一理あると考えられます。

しかし、都市計画に関する関係者は特定地域の方だけとは限りませんし、その地域の方でも、交通機関や勤務先の関係で連絡所などが適当な場所とも限りません。

縦覧の利便のみを考えれば、縦覧場所を増すにこしたことはありませんが、都市計画案の縦覧は専門的な説明なしでは理解できないものが大部分です。そのため、縦覧場所には計画策定に当った職員を説明のために配置しております。

このようなことをご理解のうえ、ご面倒でも担当課においで頂きたいと思います。

下水道建設課から
専門的な説明が必要
ご面倒でも担当課へ

◇　◇　◇

〝市報にいがた〟では、あなたの意見、随想、グループ活動紹介、市への提言、要望、苦情、質問―などを掲載する「みんなの広場」欄を設けています。質問には誌上で必ずお答えします。どしどしご応募下さい。

応募方法

六百字以内にまとめ、住所、氏名（紙上匿名も可、年齢、連絡先電話番号を記入し、市広報課「みんなの広場係」（〒951、西堀通り六―八六六六）へ。

保健婦による健康相談

月日	地区	会場		時間
2・16	水戸	水戸公民館		午前10時～正午
2・17	濁川	濁川連絡所		午後1時～3時
2・19	松浜・濁川・濁川	北地区保健センター		
2・18	南浜	南浜連絡所		午後1時半～3時
2・18	坂井輪	坂井輪地区保健センター		午後1時～3時
2・17	鳥屋野	鳥屋野地区保健センター		午後1時半～3時

※鳥屋野地区は医師による相談です

妊婦の貧血教室

日時　2月25日午後1時半～3時半
会場　東保健所
内容　妊娠中の貧血、貧血予防の食事
申し込み　電話で東保健所へ（先着30人）

幼児の食事講習会

日時　2月19日午前10時～午後零時半
会場　西保健所
対象　お誕生すぎから3歳までのお子さんをお持ちの方
内容　バランスのとれた幼児の1日の食事とおやつ、偏食の直し方、調理実習（子供に食べさせたい魚料理）、幼児期の保育について、試食、話し合い
持参品　母子手帳、エプロン、三角きん
申し込み　電話で西保健所へ

成人病食事相談

〈東保健所会場〉
日時　2月22日午前9時～11時
申し込み　電話で東保健所へ
〈西保健所会場〉
日時　2月23日午前9時～11時
申し込み　電話で西保健所へ

離乳食講習会

対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品　母子手帳
〈東保健所会場〉
日時　2月17日午後1時～3時半
〈鳥屋野地区保健センター〉
日時　2月19日午後1時半～3時半
申し込み　電話で鳥屋野地区保健センターへ

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎41―4111
西保健所	☎66―5171
石山地区保健センター	☎86―4450
鳥屋野地区保健センター	☎85―2373
北地区保健センター	☎59―7332
西地区保健センター	☎62―3405
坂井輪地区保健センター	☎60―3255

遺伝相談

日時　毎週水曜日午後2時～
会場　市民病院小児科外来
担当者　小児科医師
定員　1回3～4人（予約制）
申し込み　電話で市民病院小児科外来（☎41―5151、内線272）へ

育児相談

日時　2月17日午後1時半～3時
会場　中地区公民館
対象　山の下地区在住の生後4カ月～5カ月の乳児（第1子）

日時　2月19日午後1時～3時
会場　石山地区保健センター
内容　発育、栄養、保育について
※両会場とも母子手帳を持参